

	排出削減目標				電源構成中の再エネ比率	
	ガス種別	基準年	2035年	2040年	2035年	2040年
経団連	GHG	2013年	▲60%	▲73%	—	—
RITE（再エネシナリオ）	GHG	2013年	▲60% (*1)	▲73%	—	54%
IGES（早期削減シナリオ）	GHG	2013年	▲76%	▲89%	61% (*2)	79%
JCLP	GHG	2013年	▲75%以上	—	60%以上	—
自然エネルギー財団	エネ起源CO2	2019年	▲65%	▲80%	80%	95%
Climate Integrate	GHG	2013年	▲70%	▲80%	85%以上	ほぼ100%
WWFジャパン	GHG	2013年	▲68%	▲81%	77%	90%

(*1) 経産省からの依頼内容では「2030年度46%削減から2050年ネットゼロへと現在の削減トレンドを直線的に削減が進んだケースを分析に含めること」とされていることから当該数値であるものとした。

(*2) JCLP『脱炭素加速に向けたJCLPからの提言 別添資料』でIGESの「1.5°Cロードマップでの電源構成」として提示されている数値を参照した。

< 出典 >

- 経団連（2024）『エネルギー基本計画の見直しに向けた提言』
- RITE（2024）『2050年カーボンニュートラルに向けた我が国のエネルギー需給分析』（総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会 第66回会合 資料4）
 - 〔参考〕資源エネルギー庁（2024）『シナリオ分析について』（総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会 第66回会合 資料1）
- IGES（2023）『IGESシナリオ分析概要』（総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会 第66回会合 資料5）
 - 〔参考〕JCLP（2024）『脱炭素加速に向けたJCLPからの提言 別添資料』
- JCLP（2024）『脱炭素加速に向けたJCLPからの提言』
- 自然エネルギー財団（2024）『脱炭素へのエネルギー転換シナリオ（詳細版）』
 - 〔参考〕同（2024）『自然エネルギーによるエネルギー転換シナリオ 2040年に向けての展望（第1版）』
- Climate Integrate（2023）『2035年電力システム 脱炭素化への政策転換』
- WWFジャパン（2024）『脱炭素社会に向けた2050年ゼロシナリオ（2024年版）』

各機関・団体が示す排出削減の水準

	ガス種別	基準年：2013年		基準年：2019年	
		2035年	2040年	2035年	2040年
IPCC AR6 の水準	GHG	▲66% (*1)	▲73% (*1)	▲60%	▲69%
	CO2	▲71% (*1)	▲83% (*1)	▲65%	▲80%
経団連	GHG	▲60%	▲73%	▲53% (*1)	▲69% (*1)
RITE（再エネシナリオ）	GHG	▲60% (*2)	▲73%	▲53% (*1)	▲69% (*1)
IGES（早期削減シナリオ）	GHG	▲76%	▲89%	▲71%	▲87% (*1)
JCLP	GHG	▲75%以上	—	▲71%以上 (*1)	—
自然エネルギー財団	エネ起源CO2	▲71% (*1)	▲83% (*1)	▲65%	▲80%
Climate Integrate	GHG	▲70%	▲80%	▲65% (*1)	▲77% (*1)
WWFジャパン	GHG	▲68%	▲81%	▲63%	▲77%

(*1) 各機関・団体の示す削減水準を日本の排出量実績に基づいて換算。

(*2) 経産省からの依頼内容では「2030年度46%削減から2050年ネットゼロへと現在の削減トレンドを直線的に削減が進んだケースを分析に含めること」とされていることから当該数値であるものとした。

<出典>

- ・ 経団連（2024）『エネルギー基本計画の見直しに向けた提言』
- ・ RITE（2024）『2050年カーボンニュートラルに向けた我が国のエネルギー需給分析』（総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会 第66回会合 資料4）
 - ・ 〔参考〕資源エネルギー庁（2024）『シナリオ分析について』（総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会 第66回会合 資料1）
- ・ JCLP（2024）『脱炭素加速に向けたJCLPからの提言』
- ・ IGES（2023）『IGES 1.5°Cロードマップ』
- ・ 自然エネルギー財団（2024）『脱炭素へのエネルギー転換シナリオ（詳細版）』
 - ・ 〔参考〕同（2024）『自然エネルギーによるエネルギー転換シナリオ 2040年に向けての展望（第1版）』
- ・ Climate Integrate（2023）『2035年電力システム 脱炭素化への政策転換』
- ・ WWFジャパン（2024）『脱炭素社会に向けた2050年ゼロシナリオ（2024年版）』